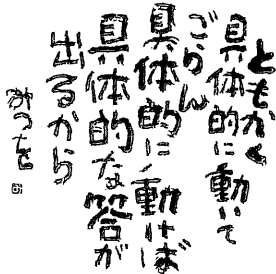


さくら第474号

令和元年6月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬重雄
 春江町境 17-7:TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



『令和、語呂読み、018』

2019年5月1日午前0時より元号が令和になりました。4月30日までは平成であり31年間続き天皇陛下が85歳で生前退位となり、これからの呼称は上皇陛下、明仁(あきひと)上皇、明仁上皇陛下などで、皇后陛下は上皇后、美智子上皇后、美智子上皇后陛下など。

退位され、崩御(ほうぎょ)された後には、平成天皇と言われますが、生存中は平成天皇とは言いません。(天皇が亡くなれたことを崩御とよぶ)

ところで、語呂読みというものがあり、令和を『018』と書くそうです。そういえば、レイワとよめますね。学校支援そろばんボランティア授業であちこちの小学校へ出向いた時、最初に黒板へ373、4649と書き、おじぎをすると、児童たちは何のことか分からず黙っています。

そこで、33と書き、耳をさわります。次は、87と書き、鼻をさわる、アッ、ワカタと口々に言います。648と書けば虫歯、889なら早くと大きな声を出し始めます。

1分間でこのような語呂読みを終えてそろばんの練習に入ると気持ちがリラックスし、楽しい気持ちで授業ができます。

語呂とは、言葉や文章の続きぐあい、調子のことで、もともとは雅楽(ががく)において曲の調子を『律呂・りつりょ』または『呂律・ろれつ』といい、うまく演奏できないことを『ろれつがまわらない』と言うそうです。

これを言葉の調子にもなぞって語呂と言うようになったそうです。語呂がよいとは語調の感じが良いことになります。

語呂合わせは、言葉にリズムや音感を持たせてなじみやすくしたもので、文字を他の文字にかえて縁起かつぎをおこなうものや、数字や記号に連想されて読める音をあてはめ、意味が読み取られる単語や文章に置き換えることを指します。電話番号や暗証番号などにもよく使われます。

数字の4、9は発音だけを聞いていると死、苦にも通じるので病院では部屋やロッカーなどの番号に使いません。縁起かつぎであり、悪いイメージを連想させないようにです。

五円玉はご縁があるようにと、めでたい時の引き出物にすることがよくあり、時には45円を包んで贈ることがあります、お金に始終ご縁があると財布に入れる人もいます。これらもある種の語呂合わせですね。

1年12か月のなかで1か月が31日や30日、29日、28日とことなります。応用計算などで日数計算で便利な覚え方があります。4年に1回、オリンピック開催の年に、2月はうるう年といい29日ですが特別ですから外します。

30日の月のことを「小の月」といい、2月、4月、6月、9月、11月を、西向くさむらいといいそれ以外は「大の月」で31日です。

2、4、6、9を、にし、むくと呼び、11月は漢字で書くと十と一が合わさって士となります。士とはサムライと読むことから、語呂読みで覚えやすくするために、「にしむくさむらい」と覚えていきます。ただし、2月は28日ですが小の月として覚えます。

では、次の数字はどのような意味かを、語呂読みで考えてみてください。「計算は、5379889、8008、4641」です。計算する時の注意点です。

令和生まれの人は生まれた年に「018」と2000を足します。平成生まれの人は生まれた年に「88」と1900を足します。昭和に生まれた人は「25」と1900を足せば西暦の数になります。数字は語呂読みなどで楽しくおもしろく使えるのでいろいろ考えてみましょう。